

小城市教育の基本目標

城創伝心 小城の歴史と伝統を受け継ぎ、文化を創造する豊かな心を育み後世へ伝える人づくり

岩松小学校の学校教育目標

「自律」・「尊重」・「挑戦」を大切にした学びがある学校
～個人と社会のWell-beingを目指して～

「3つのキーワード」と子どもに身につけてもらいたい「9つの非認知能力」

自律

自ら考え、判断・決定し、行動する

- ① 衝動的な行動を抑制し、感情をコントロールする力 (自制心)
- ② 自分の役割を認識し、責任をもって行動する力 (責任感)
- ③ 目標達成のために粘り強く努力し、最後までやり遂げる力 (グリット)

尊重

他者の価値観や意見、人格などを認め、大切に扱う

- ④ 多様な価値観や意見を受け入れ、他者を尊重する力 (寛容性)
- ⑤ 他者と円滑なコミュニケーションを取り、良好な関係を築く力 (対人関係能力)
- ⑥ 共通の目的の実現のために、他者と協働する力 (コラボレーション)

挑戦

失敗を恐れず、新しいこと・困難なことに立ち向かう

- ⑦ 未知のものに対する探究心や興味をもち、積極的に学習する力 (好奇心)
- ⑧ 問題を分析し、解決策を見つけ出す力 (問題解決能力)
- ⑨ 物事を批判的、論理的に思考する力 (クリティカルシンキング)

学校教育目標の達成に向け、子どもが自ら考え、判断し、行動でき（自己選択・自己決定を繰り返し行い）、自他の人権や価値観の違い（多様性）を大切にすることができ、前例にとらわれず失敗しながらも、よりよいものを創り出すことを楽しむことができる教育環境を全職員で整えていく。

今年度の9つの重点取組

① 学習指導

- ・子どもの「問い」を生かす授業
- ・学び方の選択（自己決定）がある授業
- ・学習用端末やアプリの積極的な活用
- ・学びの「振り返り」の重視
- ・協働的な学び、個別最適な学び、体験活動の充実

② 生活指導

- ・自己決定を促す支援（「自律を促す4つのことば」）
- ・出番・役割・承認による自己肯定感の醸成
- ・よりよい生活習慣の定着
- ・いじめの未然防止（〇月のころ）

③ 人権教育・道徳教育

- ・自己決定や学び合いを重視した授業
- ・多様な意見を尊重する児童の育成
- ・自他のいのちを尊重する児童の育成
- ・民主主義を教える
- ・人格と意見を区別することができる児童の育成

④ 特別活動

- ・創造的な委員会活動の展開
- ・自治的な組織づくりや役割の自覚
- ・子どもによる生活上の諸問題の解決（子どもによるルールメイキング）
- ・学校行事の企画会への児童の参加
- ・異学年交流（わんぱくタイム）の充実

⑤ 特別支援教育

- ・自立活動の充実
- ・子どもの特性理解に基づいた教科指導の充実
- ・幼小中とつながりのある支援の充実
- ・関係機関・保護者との協力・連携
- ・特別支援教育の研修の充実

⑥ 故郷を誇りに思う教育

- ・5・6年生への岩松検定の実施
- ・生活科・総合的な学習の時間のふるさと学習（地域の方による羊羹づくり、祇園川の生物探査、史跡探訪）の充実
- ・祇園川クリーン作戦の充実
- ・岩松寺子屋への参加の奨励

⑦ 健康・安全

- ・防災、防犯、交通安全指導の徹底
- ・自ら危険を予知する力の育成
- ・SOSの出し方の教育
- ・病気やけがを予防する指導の充実
- ・運動に対する情意向上のための楽しい体力向上の取組

⑧ 学校運営

- ・学校教育目標実現という目的のための手段の創出・挑戦
- ・服務規律の厳正
- ・学校評価計画の確実な実施（人事評価との関連の意識化）
- ・心理的安全性が担保された職員室

⑨ 信頼される学校づくり

- ・来校者へ礼節を尽くす
- ・双方向的情報発信の工夫（保護者との良好な関係づくり）
- ・ホームページや学級だより等による学校・学級の情報発信の充実
- ・はなまるアプリでの確実な出欠確認